

平成 27 年 7 月 3 日

## プレスリリース

報 道 各 位

大阪堂島商品取引所

### コメ試験上場検証特別委員会(平成 27 年 6 月 29 日)概要

- 1 日 時：平成 27 年 6 月 29 日（月）11：30～14：00
- 2 場 所：食糧会館会議室
- 3 議 題
  - ・コメ先物取引の試験上場の状況
  - ・コメ試験上場に関する検証報告書（素案） 他
- 4 概 要
  - 試験上場は 1 回、2 回が限度で、3 回、4 回の試験上場というのは趣旨に合致しないので、本上場すべきとの意見。
  - 平成 30 年産に向けて先物市場を維持していくべきとの意見。
  - 生産者サイドの認知度を高め、今後、本上場に繋げて欲しいとの意見。
  - 取引に参加していなくても、価格を参考にしている者もいることを認識して欲しいとの意見。
  - 食料産業局長通知の条件は全て満たしているとの意見。
  - 買取集荷を増やすとすると、リスクを緩和しなければならなくなる。そう考えると、コメ先物市場を今止めるわけにはいかないとの意見。

- 試験上場、本上場の如何を問わず、上場は維持すべきとの意見。
- 1年産のものをたった2年でどう判断するのかとの意見。
- コメ先物取引が70年余り断絶していたことは大きいとの意見。
- 多くの現物市場が出来る中で先物市場が成立していくのは、裏表の関係。大手だけでなく中小も含めて、流通業者がコメ先物取引の必要性を唱えていく必要があるとの意見。
- 農家が急激に経営面積を増やした場合、売りヘッジの場所として、先物市場は非常に重要との意見。
- 生産者サイドとしては、平成30年に向けて先物市場に大変期待しているとの意見。
- 報告書(案)の修正及び報告時期は、委員長及び事務局に一任。数値の確定、意見の反映、字句修正等を行った上で、報告書として取りまとめることとなった。

## 5 その他

今回の資料については、7月1日に報告書として取りまとめられていることから、同日のプレスリリースをご参照ください。

以 上

問い合わせ先 大阪堂島商品取引所 営業企画部 込宮 電話：03-4334-2185
--